

○ フェリデックス [注] <製造中止>

【重要度】<製造中止> 【一般製剤名】フェルモキシデス ferumoxides 【分類】MRI用肝臓造影剤

【単位】○5ml/1A 5ml中に鉄として56mgに相当するフェルモキシデスを含有

【常用量】0.05mL/kg (鉄として0.56mg/kg)

【用法】5%ブドウ糖注射液100mlに用時混合し、30分以上かけて静注（必ず5%ブドウ糖注射液を使用し、他の輸液及び薬剤と混合して投与しない。）

【透析患者への投与方法】透析患者への投与方法に言及した文献がないが、尿中への排泄率が低いいため、減量の必要性はないと思われる。ただし頻回輸血により鉄過剰症になっている患者には禁忌（5）

【保存期腎不全患者への投与方法】減量の必要なし（5）

【特徴】磁気共鳴現象において、緩和時間短縮降下を示す超常磁性酸化鉄をデキストランで被覆し、肝臓のクッパー細胞に取り込まれやすい大きさにしたコロイド液。静注により、肝臓のクッパー細胞に貧食され、肝臓に分布する。

【主な副作用・毒性】アナフィラキシー様症状、発疹、血圧降下、血圧上昇、動悸、呼吸困難、息苦しさ、嘔気、頭痛、頭重感、両足硬直、熱感、前胸部圧迫感、前胸部痛、背部痛、腰痛、四肢疼痛、悪寒・戦慄、発熱

【排泄】尿中排泄率1.6%（1）

【t1/2】α相0.83±0.90時間 β相15.14±8.57時間（1）

【TDMのポイント】TDMの対象にならない

【CL】4.22±1.11 (mL/hr/kg)（1）

【作用発現時間】30分の点滴投与終了後（1）

【効果持続時間】投与終了後4～9時間（1）

【備考】ヘモクロマトーシスなどの鉄過剰症の患者には禁忌。血清鉄、UIBC、フェリチンの検査値に影響を与えることがある。

【更新日】20120216

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配言を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。